

平成24年第1回(3月)定例会 予算特別委員会報告書

議案番号 議案第2号
議案名 平成24年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費予算
議案の概要 歳入歳出予算の総額をそれぞれ222億2,050万円とするもの。
質疑の概要 問1 40歳からの働き盛りの方の特定健診の受信率が低下しているが、その対策は どうするのか。 答1 受診率が低いのは事実。未受診者へのアンケートでは、働いている所で受診し ているとか、普段から健康でなのでとの回答である。受診率の向上に向け、休日 受診の機会を設けるとともに丁寧な案内を送付する。医師会とも相談し進めてい きたい。 問2 資格証の発行は抑えてきたが、今後はどうするのか。 答2 現在、資格証は発行しておらず、今後も発行しない方向でやっていく。 問3 国民健康保険税の見直しにより、月額13万円から14万円の収入の方は、月 額1万円程度の負担増となるがどうか。 答3 大変な状況と思う。国民健康保険制度も大変な状況にあり、国に制度の見直し を求めている。 問4 低所得者の滞納は増えていくと思われ、収納率は下がる。国民健康保険税を払 える状況にしないといけないのでは。 答4 国民健康保険会計は厳しい状況にあり、一定の所得の方に一定の負担をお願い した。 総括質疑の概要 問1 新年度予算では、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、すべてが値上げ となっている。社会保障の原則は応能負担であると考えているが、低所得者層におい ては、負担が限界を超えている。減免制度の拡充等、どう考えるのか。 答1 減免制度の拡充は予定していないが、窓口対応を最大限丁寧にしていきたい。 賦課決定にあたっては応能負担を原則としているが、個々に色々な事情があると 考えるので、問題があれば相談をしてほしい。
討論の概要 (反対討論) 討論1 保険料の値上げ予算であり反対。
その他 なし
審査結果 可決(賛成多数 賛成9人、反対2人)

平成24年第1回（3月）定例会 予算特別委員会報告書

議案番号 議案第3号
議案名 平成24年度宝塚市特別会計国民健康保険診療施設費予算
議案の概要 歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億2,210万円とするもの。
質疑の概要 問1 西谷診療所の診療時間は。また、患者数の状況は。 答1 内科が月、火、水、金の週4回。歯科が月、火、水、金、土の週5回の診察。 患者数については、平成23年度は2月末日現在で、内科が2,683人、歯科が8,024人である。 問2 赤字を解消する方策は。 答2 診療所を廃止する議論もあったが今日まで継続してきた。内科は医師の定着が課題であったが、現在の医師は定着しており安定した需要が見込まれる。歯科は利用が増えている。 問3 現在の一般会計からの繰入額は。 答3 毎年、4千万円から5千万円程度を繰り入れている。
討論の概要 なし
その他 なし
審査結果 可決（全員一致）

平成24年第1回（3月）定例会 予算特別委員会報告書

議案番号 議案第4号
議案名 平成24年度宝塚市特別会計農業共済事業費予算
議案の概要 歳入歳出予算の総額をそれぞれ9,830万円とするもの。
質疑の概要 問1 家畜共済事業の支給対象はどのような場合か。 答1 家畜が死亡した場合と家畜が死ぬまでに廃業で処分した場合に共済金が支給される。対象となる家畜は雌雄ともに含まれる。
討論の概要 なし
その他 なし
審査結果 可決（全員一致）

平成24年第1回(3月)定例会 予算特別委員会報告書

議案番号 議案第5号
議案名 平成24年度宝塚市特別会計介護保険事業費予算
議案の概要 歳入歳出予算の総額をそれぞれ143億8,410万円とするもの。
質疑の概要 問1 国は介護保険安定化基金を取り崩し一般財源として活用するとしているが、県の考え方は示されているか。 答1 西脇市を除く県下の市町から県に要望しているが、回答は得ていない。県の予算書では、在宅生活支援事業に活用し、ケアマネージャーの質的向上を図る研修事業に補助金を交付することとしている。 問2 介護保険の基金を一般財源化するのは財政規律に反する。基金はどうなるのか。 答2 基金の拠出は、国、県、市がそれぞれ3分の1を負担している。県は、国の拠出分を返還、県の拠出分を一般財源化、市町分を交付金措置するとしている。 問3 低所得者に対する減免措置の拡充は。 答3 新しい第3段階に対応する層への基準は設けるが、従来の階層の減免措置を拡充する予定はない。 問4 デイサービス利用者の宿泊ニーズ調査を受け、任意で宿泊サービスを実施している都市もあるが、今後サービスのあり方をどう検討するのか。 答4 本市の調査だけで評価できるものではない。国で全国のデータを分析評価し、対応を検討するとしており、その結果を踏まえ市としての対応を検討する。 問5 市として、主体的に把握し考えることも必要では。 答6 事業者が任意で行う事業であり介護保険の給付対象ではないため、その実態は掴みにくいのが実情。
討論の概要 (反対討論) 討論1 保険料の値上げ予算であり反対。
その他 なし
審査結果 可決(賛成多数 賛成9人、反対2人)

平成24年第1回（3月）定例会 予算特別委員会報告書

議案番号	議案第6号
議案名	平成24年度宝塚市特別会計公共用地先行取得事業費予算
議案の概要	歳入歳出予算の総額をそれぞれ31億1,040万円とするもの。
質疑の概要	なし
討論の概要	なし
その他	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成24年第1回(3月)定例会 予算特別委員会報告書

議案番号	議案第7号
議案名	平成24年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費予算
議案の概要	歳入歳出予算の総額をそれぞれ28億7,690万円とするもの。
質疑の概要	なし
討論の概要	(反対討論) 討論1 保険料の値上げ予算であり反対。
その他	なし
審査結果	可決(賛成多数 賛成9人、反対2人)

平成24年第1回(3月)定例会 予算特別委員会報告書

議案番号 議案第8号から議案第16号まで

議案名

議案第8号 平成24年度宝塚市特別会計平井財産区予算
議案第9号 平成24年度宝塚市特別会計山本財産区予算
議案第10号 平成24年度宝塚市特別会計中筋財産区予算
議案第11号 平成24年度宝塚市特別会計中山寺財産区予算
議案第12号 平成24年度宝塚市特別会計米谷財産区予算
議案第13号 平成24年度宝塚市特別会計川面財産区予算
議案第14号 平成24年度宝塚市特別会計小浜財産区予算
議案第15号 平成24年度宝塚市特別会計鹿塩財産区予算
議案第16号 平成24年度宝塚市特別会計鹿塩・東蔵人財産区予算

議案の概要

議案第8号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 9,211万円とするもの。
議案第9号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 576万6千円とするもの。
議案第10号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 65万8千円とするもの。
議案第11号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 404万9千円とするもの。
議案第12号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 1,778万6千円とするもの。
議案第13号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 442万4千円とするもの。
議案第14号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 462万8千円とするもの。
議案第15号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 87万6千円とするもの。
議案第16号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 204万円とするもの。

質疑の概要

問1 平井児童館の運営経費の総額と人件費は。
答1 総額で1100万円、内人件費は600万円である。

討論の概要

なし

その他

なし

審査結果

全議案可決(全員一致)